

MEDIA INFORMATION

SUZUKA
24
&
RACE

SUZUKA 2&4 RACE

2007年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第2戦

2007年 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 (JSB1000)

2007

4/14

予選

SAT.

15

決勝

SUN.

鈴鹿サーキット国際レーシングコース

1周 5.807km(4輪) 5.821km(2輪)

- 同日開催 : 全日本フォーミュラ3選手権 第3戦・第4戦 / ホンダ エキサイティングカップ ワンメイクレース 2007 ~インテグラ・インターシリーズ~第1戦
- 主催 : 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット / 財団法人 日本モーターサイクリススポーツ協会(MFJ)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA) / 社団法人 日本自動車連盟(JAF) / 国際モーターサイクリズム連盟(FIM)

鈴鹿サーキットだけの2輪&4輪ビッグイベント 国内最高峰レース、JSB1000&フォーミュラ・ニッポン同日開催!

鈴鹿サーキットでは、4月14日(土)・15日(日)「SUZUKA 2&4レース」を開催。このレースの特徴はなんといっても、2輪の「全日本ロードレース」と4輪の「フォーミュラ・ニッポン」という国内最高峰レースが同じ日に観られるところだ!

併催レースは、世界統一マシンレギュレーション(車両規則)を採用した若手ドライバーの登竜門レースF3が、またワンメイクレースとして人気が高いインテグラの開幕戦が開催される。

そして、レースファンはもちろん、ファミリーも楽しめる「Enjoy Honda」も同時開催。気になる最新製品情報から、楽しいイベントまでワクワクの2日間を展開。春の鈴鹿サーキットへ、ぜひ皆様でお越しください!



フォーミュラ・ニッポン、今回のレース距離は、 51周=約300kmから44周=約250km(予定)へ!! これまで以上に「ドライバー勝負のスプリントレース」として開催!

4輪レースの国内最高峰、フォーミュラ・ニッポンは、これまでレース距離が51周=約300km、途中ガソリン補給、タイヤ交換のためにピットインを行うF1と同様の決勝レースが行われているが、この鈴鹿ラウンドではその内容が大きく変わる。

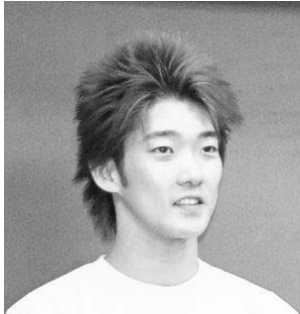
決勝レースの走行距離が44周=約250km(予定)で争われるのだ。多くのチームが、レース中のピットストップなしの戦略を選択するだろう。その意味するところは予選から完全にドライバー勝負になるということ。決勝でのピットインは不確定要素が大きく、チーム側のピットインタイミングの判断ミスや、ピットでの作業ミス、タイムロスなど、ドライバーとは無関係な部分で勝敗が左右されることがあるが、今回はそれがない。つまり純粋に、当然そこにはマシンを作り上げるチームの力も加わるが、ドライバーの「腕」が勝敗を決めることになるのだ。そこには金曜日の練習走行から土曜日の予選までのわずかな時間で、どこまでマシンを完璧な状態に持って行くかのマシンセッティング、マネージメントの能力も必要だ。スプリントレースで求められるのはスターティンググリッド。つまり予選でどれだけ上位に食い込めるかが重要となるからだ。

金曜日の練習走行からドライバー同士の駆け引きが始まるわけで、これは観る側にとっても息の抜けない緊張状態と言っていだろう。2007年の第2戦・鈴鹿ラウンドは速さだけではなく、精神的な面も含めた「強い」ドライバーがはっきりする戦いとなりそうだ。



ノリックこと阿部典史の参戦で今年のJSB1000は勢力一新!! ワークスチームの参戦も!?今年も“コカ・コーラ”鈴鹿8耐はここから始まる

■ビッグニュースの連発!!主役の座を射止めるのは誰だ!!



“ノリック”こと阿部典史

例年にないビッグニュースに包まれている今年のMFJ全日本ロードレース選手権シリーズ。開幕戦ツインリンクもてぎ(4月1日(日)決勝)に続き、シリーズ第2戦は、4月14日(土/予選)~15日(日/決勝)に鈴鹿サーキットを舞台として最高峰クラスJSB1000が単独開催される。

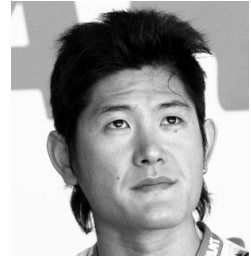
さて、そのビッグニュースの一つが、これまで世界GPやスーパーバイク世界選手権で活躍し、その人気と実力は世界レベルの“ノリック”こと阿部典史が、今年はJSB1000にフル参戦することになったことだ。マシンはヤマハの新型YZF-R1で、タイヤはダンロップのパッケージでワイズギア・レーシングからの参戦となる。

さらにビッグニュースは続く。昨年の全日本ST600で2年連続チャンピオンを決めた安田毅史と、同じくGP250で全勝チャンピオンの横江竜司がJSB1000にコンバート。安田はJSB1000マシンを駆り、2005年の“コカ・コーラ”鈴鹿8耐で総合3位、2006年の“コカ・コーラ”鈴鹿8耐では総合2位に入った実績があるだけに、その注目度は高い。マシンは、安田がHonda CBR1000RR+ブリヂストン、横江はヤマハの新型YZF-R1+ブリヂストンだ。

さて、ここでビッグニュースが終わらないのが今年のJSB1000のすごいところだ。鈴鹿サーキットレーシングスクールジュニアの第一期生である酒井大作が、今年はヨシムラに移籍して、いよいよ最高峰クラスJSB1000に挑戦する。また、大崎誠之が2004年以来3年ぶりにJSB1000に復帰する。酒井はスズキの新型GSX-R1000+ブリヂストン、大崎はヤマハの新型YZF-R1+ダンロップだ。

この他にも、モリワキに移籍した山口辰也、WINS FACTORYからの出場となる秋吉耕佑、PLOTレーシングへ移籍した今野由寛。スズキ、チームOSG&モトスポーツからのエントリーとなる出口修など、新境地開拓を目指す実力者も多い。

また、今年は5年ぶりに全日本ロードレースへのワークスチームの参戦が噂されており、今後のエントリーリストの発表に注目して欲しい。



安田毅史



横江竜司



酒井大作

■迎え撃つ上位常連組。その中心は連続V2チャンピオンの伊藤真一選手だ!!



伊藤真一

大きなうねりが押し寄せている今年のJSB1000だが、そうした中でも中心となるのは、昨年、連続V2チャンピオンを獲得した伊藤真一に他ならない。昨シーズン、開幕直後こそマシンのセットアップに苦しんだが、第2戦鈴鹿2&4レースで優勝すると見事に復活。その後は連続して表彰台に立ち続けて、相変わらずの強さを発揮。昨年の“コカ・コーラ”鈴鹿8耐では、2003年以来4年連続でポールポジションを獲得すると、1997年、1998年に続いて3勝目を記録した。

この伊藤を追撃するのが、昨年のランク2位渡辺篤だ。マシンが新型化されることから、さらにポテンシャルが上がることは必至で、今年はさらに手強い存在となる。そして、着実にマシンのポテンシャルが向上している柳川明をはじめ、昨シーズンに急成長を遂げた中須賀克行、伊藤とのペアで鈴鹿8耐初優勝を遂げた辻村猛、若手成長株として期待が集まる徳留和樹、ベテラン亀谷長純など、まさに主役が乱立した状態だ。



渡辺篤



柳川明



中須賀克行



■第30回“コカ・コーラ”鈴鹿8耐へのプロローグ。今大会の記録は貴重なデータとなる!!

今大会に登場するJSB1000マシンは、7月26日(木)に開幕し、29日(日)に決勝レースを迎える第30回“コカ・コーラ”鈴鹿8耐での主力車種となる。それだけに、各チームにとっては、今大会が単なる全日本の一戦ではなく、“コカ・コーラ”鈴鹿8耐へ向けての貴重な一戦でもある。とくにマシンが新型化されるヤマハとスズキに関しては、今大会でどれだけデータを集積できるかが重要課題だ。JSB1000マシンは、とくに“コカ・コーラ”鈴鹿8耐までは一戦毎に開発が急ピッチで進むが、どれだけポテンシャルを上げたかを知るためにも、今大会のリザルトは重要な手がかりとなる。

そして今シーズンの全日本ロードレース最終戦は、昨年に続いてMFJ-GPとして鈴鹿サーキットで10月21日(日)に決勝レースを迎えるが、実例を挙げれば、昨年の鈴鹿2&4レースで優勝した伊藤のレースタイムは、最終戦のMFJ-GP鈴鹿では8位前後のものでしかなく、それだけマシン性能が向上したことを示している。

全日本ロードレースファンにとってはもちろんだが、“コカ・コーラ”鈴鹿8耐ファンにとっても見逃せない一戦が、この鈴鹿2&4レースであり、今年のスタートアップ情報の全てが、この大会に凝縮されているのである。

今年もF3は精鋭たちの熱きバトルがさく裂! 日本最高峰ワンメークレース、インテグラ・インターシリーズは鈴鹿で開幕!



F3

—昨年、2005年に全日本F3選手権で活躍した中嶋一貴は、昨年ユーロF3に参戦した後、今年はGP2に参戦するとともにF1ウィリアムズチームとテストドライバー契約を交わした。昨年全18戦中5勝を記録してチャンピオンに輝いたA・スーティルは今季F1スパイカーチームの正ドライバーに抜擢されるなど、今や全日本F3で活躍することはそのままF1への道を開くことと同じになってきた。中嶋に、スーティルに続けと、全日本F3は今年も精鋭たちが大挙して参戦してきた。昨年FCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)、フォーミュラトヨタのWタイトルを獲得した関口雄飛、同じくFCJで活躍した中山有貴らがステップアップを決め、塚越広大ら昨年ランク上位を占めた強豪たちとの対決が注目されることになった。今年もF3は全9ラウンド、18戦が行われるが、その内鈴鹿サーキット、ツイン

リンクもてぎで4ラウンド、8戦と、半数近いレースが行われる。フォーミュラ・ニッポン同様この2サーキットをいかに制するかが重要で、鈴鹿開幕となる第3戦、第4戦はシーズンの行方を左右する戦いとなりそうだ。

また、毎回超接近戦を繰り広げる日本最高峰のワンメークレース、インテグラ・インターシリーズが、ここ鈴鹿サーキットで開幕戦を迎える。F3、インテグラともに重要な戦いとなる鈴鹿サーキットでのレースは、シリーズを占う上で見逃せない一戦となるだろう。



インテグラ

2輪も4輪もスターティンググリッドが目の前に! 白熱の闘いは東コースのほぼ全域が見渡せるグランドスタンドV席で!! さらにE席にサーキットビジョン登場! 間近に迫力を感じたければ「激感エリア」がおすすめだ!!

観戦環境向上宣言!!

さて、今年から2輪のレーススタート位置が、安全性を考慮し、4輪のスタート位置に近い1コーナー側に移設され、従来の4列グリッドから3列グリッドに変更された。全長約5.8km(2輪:5.821km、4輪:5.807km)の鈴鹿サーキットでは、攻略性に富んだコーナーが配されていることから、観戦スタイルに合わせてレースの醍醐味を味わうことができるが、グランドスタンドのV席からは、スターティンググリッドからの緊張感溢れるスタートシーンが目前で見られることになる。また、V席上段からは、白熱したライン取り争いとプレーキング競争が行なわれる第1~第2の複合コーナーをはじめ東コースのほぼ全域が見渡せることから、鈴鹿サーキットの新たな魅力的な観戦ポイントとなる。

もちろん最終シケインからチェッカーまでの息詰る接戦もこのV席から見るができることから、レースの迫力と感動のシーンを一挙に堪能できる観戦ポイントなのである。

さらに、E席前に仮設ビジョンを設置。S1・S2の常設ビジョンと合わせ、エリア席での観戦環境UPを実現。

一方、より近くでレースを体感したいと望むファンに向けて、パドック内『激感エリア』が設定される(※パドックパスが必要です)。場所は2輪レース、4輪レースの両方で入れる第1コーナー手前イン側と、2輪レース時のみ入れる第2コーナーイン側。写真を撮るにもベストポジションだ。しかしそれよりも、空気が震えるのが伝わるほどの至近距離での観戦は、一度体験したら、その迫力に魅せられることは間違いない!!



激感エリア(2コーナーイン側)の様子

SUZUKA 2 & 4RACEをまるごと楽しむイベント情報！

Pit-FMラジオ放送「ビギナーおまかせ大放送774」を開局！ 解説ていねい、ゆったりトーク。わかりやすいがモットーですっ！

モンスターマシンの爆音の中、場内実況が聞き取れない場合でも携帯FMラジオがあれば安心。主要な観戦席に場内実況の音声をラジオの周波数に乗せ配信する『Pit-FM』はレース観戦の定番だ。また今回は、レース初心者にはわかりにくいペナルティやレース展開をより分かりやすく実況する『ビギナーおまかせ大放送774』を放送！

携帯FMラジオ(とイヤホン)を持ってきてね！

●周波数76.0MHz.....

場内実況放送

●周波数77.4MHz.....

ビギナー観戦者用放送

■鈴鹿2&4レース観戦ガイド

レース当日配布

レースやイベントの最新情報から、
お得な話題まで情報満載！
会場でGetしてね。

皆さん、こんにちは&! 鈴鹿サーキットレースアナウンサーの山本克典です！鈴鹿サーキットで遊園地&レースをお楽しみ下さいね！

さて今回皆さんにお伝えしたいのは、実は、4月14・15日が開幕戦となる、鈴鹿2&4レースにおいて、私が場内実況とは別に、レース観戦初心者の皆様にも楽しくわかりやすい内容でレース実況・解説を放送することになりました。

サーキットに持ってきてもらいたいのが、携帯FMラジオとイヤホン！周波数を77.4MHzに合わせてもらえれば、僕の声をキャッチしてもらえからね。

僕も、今からワクワクドキドキ！とにかく僕も楽しんで放送するから、みんなもレース観戦を楽しんでね！



レースアナウンサー 山本克典氏

Enjoy Honda2007開催!



2 & 4レースが開催されている4月14日(土)、15日(日)の両日、鈴鹿サーキット内でEnjoy Honda SUZUKA 2007が開催される。このイベントは、ホンダが取り組む先進技術、環境技術の紹介に加え、様々な体験レースを楽しみながら楽しめるホンダならではのイベントが満載。ファミリーで一日中楽しめる内容となっている。



写真は昨年のEnjoy Hondaの様子

●新サーキットクイーン デビュー!●



2007年度の新しい鈴鹿サーキットクイーンが、みなさまに初お目見え！春にふさわしいフレッシュな”幸運の女神たち”にぜひ会いにきてください！

※写真はイメージです

●ステージイベント●

ドライバー・ライダートークショーでは、レース前の出場選手の”生の声”が聞けるチャンス！ほかに、鈴鹿サーキットクイーンやレースクイーンが出演するキャンギャルオンステージも開催。



14日(土)・15日(日)とも開催(予定) ※写真はイメージです

フォーミュラ・ニッポン

●グリッドスタッフを一般公募で実施!●



スタート前の緊迫した空気の中、スターティンググリッドにつくために、マシンはコースを1周しグランドスタンド前に帰ってくる。そのマシンをグリッドに迎え入れる役目を果たするのがグリッドスタッフだ。

一般公募で選ばれたグリッドスタッフは、決勝日のスタート前に各グリッドに勢ぞろいすることになる。

※募集要綱は後日鈴鹿サーキット公式ホームページにてご案内いたします。 ※写真はイメージです



●2輪駐車場無料!全日本ロードレース開催日限定

※イベントの内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

快適さUPの観戦プランが増えました!

●V指定席はお得な特典もいっぱい! 目の前は決勝レースの上位グリッド! ●

S2席の上部に位置するV席は、グランドスタンドの中でも一番高い位置に位置し(VIPスイート&テラスを除く)最終コーナーから1コーナーまでをほぼ見渡すことが出来る。また、目の前は2輪・4輪共にスタートライン近くとなり、決勝スタートへの緊張感が高まる中、グリッド上に並ぶ上位チームの様子を見ることが出来る絶好のポジションだ。

★V席ご購入者特典1 折りたたみ式オリジナルクッション プレゼント!

- お渡し日時: 4月15日(日)ゲートオープン~16:30(予定)
- お渡し場所: グランドスタンドV指定席裏インフォメーションカウンター
- ※引換えは4月15日(日)当日のみ有効
- ※V指定席1枚につきクッション1個進呈



前売りV指定席券(税込み)
決勝日のみ有効・別途観戦券必要

5,000円

★V席ご購入者特典2 VIPテラスに入場可能!

※ご入場はV席側からとなります。

●VIPスイートでワンランク上の観戦を●

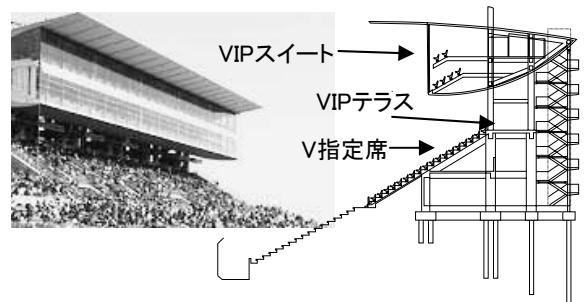
屋内観戦スペースのVIPスイートは2フロアに分かれており、上がスイートラウンジ、下がVIPスイート観戦席となっております。下フロアからはカシオトライアングル(シケイン)から第2コーナーを、地上25mを超える高さの上フロアからは東コースのほぼ全域を見渡すことができます。

VIPスイート(パーソナル販売)
(税込み)

30,000円

- お申込は鈴鹿サーキット電話通信販売(059-378-1100)まで
- お申込み受付期間: 3月15日(木)~4月8日(日)10:00~16:00

★VIPスイートご購入特典 フォーミュラ・ニッポン第2戦、決勝レース直前のグリッドウォークにご参加いただけます。



■VIPテラス

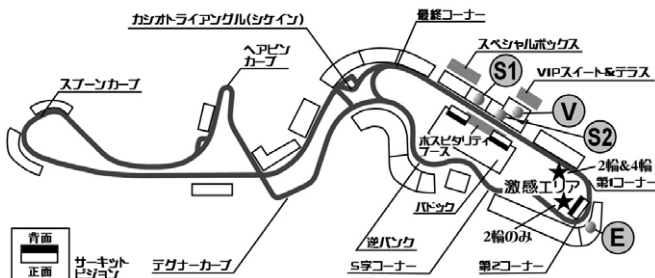
V席最上部に位置するVIPテラスは、レースの迫力や音が生で伝わる屋根付きの屋外観戦スペースです。丸テーブルを囲んだ席でゆったりとお食事や観戦をお楽しみいただけます。各ブロックにはモニターを完備しております。※今回はVIPスイート又はV指定席をご購入の方がご利用いただけます。

●フォーミュラ・ニッポン チーム応援席●

昨年のフォーミュラ・ニッポンで大好評のチーム応援席を今年も実施。お気に入りのチーム応援席で思う存分応援しよう!そして、チーム応援席には特典もいっぱい!(いずれも予定)

●S1・S2・Eエリアでサーキットビジョンが楽しめる! ●

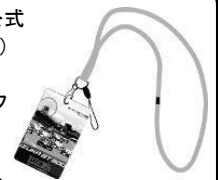
V指定席・S2席前とS1席前の常設サーキットビジョンに加え、今回はE席前にもサーキットビジョンが設置され、より快適にレース観戦ができるようになりました。



※激感エリア1コーナー手前イン側は2輪レース、4輪レース共にご入場いただけますが、2コーナーイン側は2輪レース時のみとなります。

●特製カード型パドックパス枚数限定販売! お早めに! ●

パドックパスのカードフェイスは、SUZUKA 2&4RACEの公式ポスターをイメージしたデザイン。(シリアルナンバー入り)・鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。※前売りにてご購入の方には、必ず特製カード型パドックパスをお渡します。※子供(3才~小学生)パドックパスは特製カード型パドックパスではありません。あらかじめご了承ください。



(当日、レース場ゲート横券売所にて、引換えにてお渡しいたします。)

★激感エリアへご招待!

パドックパスをお持ちの方はコースサイドにある特設「激感エリア」にご入場いただけます。(※2コーナーイン側は2輪レース時のみとなります。)

パドックパス(税込み) 別途観戦券必要

	大人(中学生以上)	子供(3歳~小学生)
パドックパスA	12,000円	2,000円
パドックパスB	6,000円	1,500円

シリーズの行方を見逃すな! お得なシリーズ観戦チケットも好評発売中!

	SUPER GT Rd.1 SUZUKA GT300km	鈴鹿2&4Race 全日本ロードレース Rd.2 フォーミュラ・ニッポン Rd.2	Super耐久Rd.2 鈴鹿500km	鈴鹿300km耐久 ロードレース	フォーミュラ・ニッポン Rd.5	"コカ・コーラ" 鈴鹿8耐	SUPER GT Rd.6 Pokka1000km	全日本ロードレース 最終戦 MFJグランプリ	フォーミュラ・ニッポン 最終戦
スーパーバイク		④		④ ③		④ ③ ②		④ ③ ②	
ツーリングカー	③		③ ②				③ ②		
フォーミュラ・ニッポン		③			③ ②				③ ②

④=シリーズ4セット ③=シリーズ3セット ②=シリーズ2セット

	シリーズ4セット	シリーズ3セット	シリーズ2セット
スーパーバイク	11,500円	8,500円	6,500円
ツーリングカー	-	10,500円	7,000円
フォーミュラ・ニッポン	-	11,500円	8,000円

※全てのレースをシリーズセット券にて観戦する場合は「フォーミュラ・ニッポンシリーズ2セット」+「ツーリングカー シリーズ3セット」+「スーパーバイクシリーズ4セット」(合計30,000円)の組み合わせがお得です。

2月15日(木)チケット発売開始!

観戦券の提示で、金曜日にも入場可能! 3日間まるごと楽しめてお得!

前売り観戦券 (税込み)		
大人 (パスポート付)	ペア(大人2名) (パスポート付)	中高生
5,000円	9,000円	1,600円

前売り指定席券 (税込み) 決勝日のみ有効・別途観戦券必要	
V指定席	S1・S2・Eエリア
5,000円	1,500円

前売りファミ得チケット (税込み) S1・S2・Eエリア券付き (決勝日のみ有効) パスポート付き (土・日いずれか1日)		
大人2名 + 3歳以上高校生以下 1名セット	追加券 大人	追加券 3歳以上高校生以下
13,000円	6,000円	3,000円

※ファミ得チケットは前売りのみの発売となります。

前売りエリア指定席券付き観戦券 (税込み) S1・S2・Eエリアは決勝日のみ有効 パスポート付き (土・日いずれか1日)	
大人入場+S1・S2・Eエリア	6,000円

※エリア指定席券付観戦券は前売りのみの発売となります。

当日観戦券 (税込み)		
	大人	中高生
土曜日	ゆうえんち入園料	
日曜日	6,000円	ゆうえんち入園料

当日指定席券 (税込み) 決勝日のみ有効・別途観戦券必要	
V指定席	S1・S2・Eエリア
5,500円	2,000円

※当日指定席券は、前売指定席券完売の際、販売いたしません。ご了承ください。

VIPスイート(パーソナル販売) (税込み)
30,000円

※VIPスイートは鈴鹿サーキット電話通信販売のみの取り扱いとなります。

※3歳未満の方は無料となりますが、席はございません。予めご了承ください

※VIPスイートは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。※特典など詳しくは当社ホームページをご覧ください。

パドックバス (税込み) 別途観戦券必要		
	大人(中学生以上)	子供(3歳~小学生)
パドックバスA	12,000円	2,000円
パドックバスB	6,000円	1,500円

※パドックバスのご購入には観戦券が別途必要です。

※パドックバスAはピット上ホスピタリティブースでご観戦いただけます。

※パドックバスBはピット上へのご入場がいただけません。

※パドックバスをご購入いただいたお客様は、S1・S2・Eエリアへのご観戦、ピットウォークおよび感激エリア(一部除く)での観戦もお楽しみいただけます。

※ホスピタリティブース上から直接ピットウォークの並び列にお入りいただく事はできません。パドックの並び列より、順番にお並びいただけます。

※パドックバスは、当日販売もいたします。当日パドックバス券は、前売パドックバス券完売の際、販売いたしません。お早めにお買い求めください。

ピットウォーク券 (税込み)	
中学生以上	2,000円

※当日、現地でのみの発売となります。

※小学生以下は無料です。

※安全のため、脚立等の持ち込みはご遠慮ください。

※高校生以下の方は、S1・S2・Eエリアへ無料でご入場いただけます。

※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。

※指定席券は決勝日のみ有効です。

※V指定席券またはVIPスイート(パーソナル販売)をお持ちの方は、VIPテラス、S1・S2・Eエリアへの入場ができます。

※観戦席の一部には団体専用席、メーカー・チーム応援専用席が区画されている場合がございます。あらかじめご了承ください。

■ご案内:

大人のお客様は、ゆうえんちモトピアパスポートでは、本レースをご観戦いただけません。

・レース決勝日のゆうえんちモトピアパスポートをお持ちの大人のお客様が、本レースご観戦を ご希望の場合は、別途追加料金1,800円にてご観戦いただけます。

・高校生以下のお客様は、これまで通り、ゆうえんち入園料のみで本レースをご観戦いただけます。

チケットのお求めは

券種によってお取り扱いのない窓口もございます

■鈴鹿サーキットチケットセンター

2月15日(木)~4月14日(土)

■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100

3月15日(木)~4月8日(日) (販売時間 10:00~16:00)

■インターネット SUZUKA ONLINE [<http://www.suzukacircuit.jp/>]

3月15日(木)10:00~4月8日(日) 24時間受付

●電子チケットぴあ ●CN プレイガイド ●イープラス ●ローソンチケット ●am/pm ●サークルK ●ファミリーマート ●サンクス ●セブンイレブン
●全国主要プレイガイド ●JTB ●近畿日本ツーリスト ●日本旅行 ●トップツアー ●名鉄観光 ●鈴鹿サーキット各営業所<東京・名古屋・大阪・三重>
※コンビニには時間帯に制約があります。 ※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。

チケットに関するお問い合わせ: 鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)